

第10回 社員総会 報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面形式により開催

とき：令和2年6月26日（金） ところ：（公社）「小さな親切」運動本部会議室

令和元年度活動要旨

重点活動である「伝えよう、日本の心プロジェクト」を中心に展開し、東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げる機運を高めた。また「平成」から「令和」へと時代のニーズに合わせた運動とするため、販促物等の改定を行った。

令和2年度活動要旨

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、私たちの日常生活は大きく変容した。中でもウイルスの感染対策として人との距離（ソーシャルディスタンス）をとることが推奨されているが、心の距離まで広がるのが懸念される。

こんなときこそ、「小さな親切」の精神が必要であることから、当該年度の活動は縮小が予想されるが、原点に戻って地道に運動を推進する。

新スローガン

「できる親切はみんなでしょう、それが命を守る力となるように」

事業変更 全国表彰式の中止

表彰式会場は3密をさけられず、出席者の半数近くを占める小中学生の安全・安心を最優先すると開催は困難。さらに今秋には新型コロナウイルスの第二波が予測されることから、全国表彰式を中止する。

その他、「小さな親切」実行章の推薦と贈呈、作文コンクール、はがきキャンペーン、あいさつ運動、日本列島クリーン大作戦、コスモス作戦などは、従来通り活動を継続。

新役員体制

役員改選に伴い理事1名・監事1名が退任し、新理事・監事それぞれ1名が加わった。なお、代表及び副代表、専務理事は再任となった。

〔理事11名〕

〈五十音順〉

代 表	鈴木恒夫	元文部科学大臣
副代表	小林和明	城南信用金庫名誉顧問
	森本弘道	(株)もみじ銀行元頭取 「小さな親切」運動広島県本部代表
専務理事	山橋由貴子	(公社)「小さな親切」運動本部事務局長
理 事	稲見友之	弁護士
	梅森 徹	(一社)全国地方銀行協会常務理事
	栗田 正	帝京大学医学部ちば総合医療センター 脳神経内科客員教授
	寺脇 研	京都造形芸術大学理事
*原口隆則		(株)読売新聞東京本社販売局長兼 グループ本社社長室次長
	藤井 基	弁護士
	保田 博	(公財)資本市場振興財団顧問

〔監事2名〕

*鈴木弘昭	学校法人大成学園常務理事 「小さな親切」運動武蔵野市支部代表
灰原芳夫	公認会計士・税理士

〈*印は新任〉

就 任 あ い さ つ

新聞人としてお役にたてるように

理事 原口隆則

歴史ある「小さな親切」運動に携わらせていただくことになり、身の引き締まる思いです。

平成元(1989)年に読売新聞社に入社し、長年社会部の記者として仕事をしてきました。2年前に販売局に異動して、雨の日も雪の日も毎日、新聞を読者にお届けする販売店の多くが、防犯活動や独居老人の見守り活動、街の清掃など地域に喜ばれる活動を行っていることを、改めて実感しました。こうした活動はまさに「小さな親切」運動に通じるものだと思います。

運動発足のきっかけとなった東大卒業式での茅誠司学長(当時)の告辞は、新聞配達少年に対する周囲の人たちの心温まる親切の話でした。新聞人として、この運動に関わる意味を噛みしめ、少しでもお役にたてるよう頑張ります。



運動本部と地域組織の皆様とともに

監事 鈴木弘昭

鈴木代表からご指名をいただき、若干逡巡はいたしましたが謹んでお引き受けいたしました。

私と「小さな親切」運動との出会いは、昭和62(1987)年です。勤務先の多摩信用金庫が中心となり、東京で唯一の武蔵野市支部が誕生したときです。

団体会員から賛助会員となり、その間30有余年、事務局担当、副代表を経て6年間代表を務めております。

これからも運動本部のご指導のもと、地域組織の皆様のご支援により、地道な活動を継続していきたいと思ひます。

先日、まもなく80才を迎える私に、ひ孫が生まれました。モチベーションも上がりましたので、監事の職責を何とか果たしたいと思ひます。

